

2009年度 港区地域こぞって子育て懇談会

2010年1月23日(土)リーブラにて開催しました。

当日の様子をどうぞご覧ください。

97名のみなさんに参加いただきました。ありがとうございました。

♪ オープニング♪
ミドポン (田村みどり) ・ ミケポン (内海良子)
ミズポン (中田瑞枝) ・ タマポン (羽田珠子)



開会あいさつ:
子ども支援部部長 杉本隆



その1: 進行: みなと子育てネットWa. Wa. Wa

港区内の子育てグループ活動紹介

<活動紹介参加団体>

みなと子育てネットWa. Wa. Wa(以下、五十音順)

いろはもみじ・おおきなき

(仮)お台場おっちゃんの会・きしゃポップ

Kids English☆Little Star・クルポンス

さこだ運動遊びクラブ・すみっこ文庫

台場子育てサロン・高輪・白金「ママのじかん」

NPO法人男女平等参画推進みなと(GEM)

ちびっ子ナイト養成倶楽部・New Buddies

働くママ&働きたいママネット“ゆいまーる”

NPO法人バディチーム・ハピネスママの会

ヒマラヤスギの会

港区に「チャイルドライン」を創ろうの会

めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊・La. La. La.



その2:

ママ&パパ発メッセージ

出演:企画メンバー

めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊メンバー

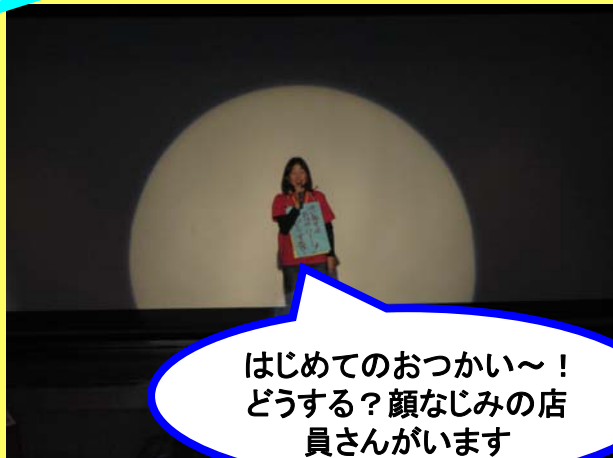
港区立子ども家庭支援センター職員

音楽:クルポンズ

子どもをもって感じたよ!
地域のつながり
だいじだね



「あいさつ」でご近所
さんも育児サポーター



はじめてのおつかい~!
どうする?顔なじみの店
員さんがいます



男性48分
女性7時間41分



学童期
あいさつすれば
顔みしり



おかげさま
おたがいさま



おせっかい

その3:

はじまっているよ！地域のつながり創り

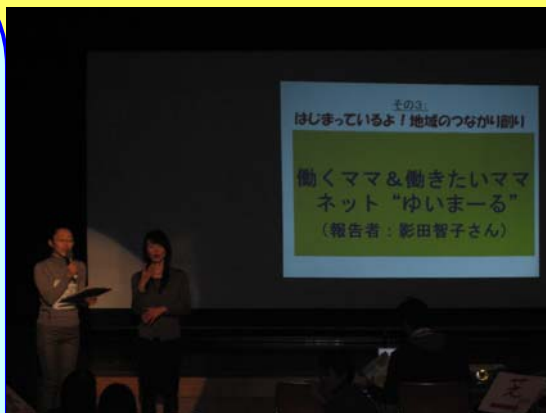
港区内のあちこちで進められている、地域のつながり創りのさまざまな取り組みを、10組のみなさんから報告していただきました。（以下、報告順）

◎ママたちの取り組み

働くママ&働きたいママネット

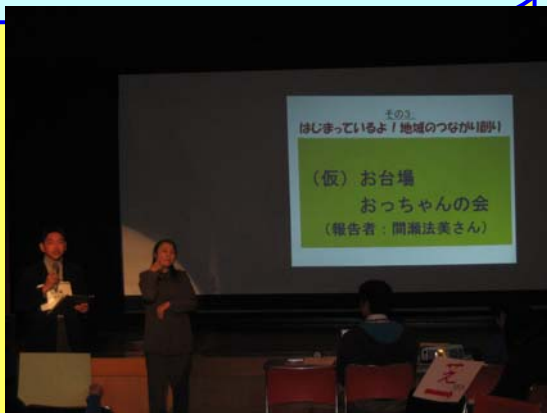
“ゆいまーる”（報告者：影田さん）

昨年の春頃働きたいのに保育園に入れず困っているママたちの集まりがあるという情報が入りました。保育園に入れないことは大問題だけど、行政に要求するだけではなく、自分たちでがんばれることはやってみよう、働くママ（パパもかな）同士のつながりも大切にしようとしていました。ママもパパも働いているとまちの知り合いは限られる、だからこそつながりを大切にしたい…。そんな心意気を語っていただきました。



こども療育パオ利用者 佐藤美恵さん

明治学院大学社会学部附属研究所は、今年度、地域の中のいろいろな子育てのことを教えていただくとうと、テーマごとに集まりをもたれている保護者のみなさんにお話を聞かせてもらう機会をもちました。佐藤さんとは、その中でお目にかかりました。「うちの子ね、ハンディあるけど、商店街の御輿かつぎに参加させてもらうんですよ～」とカラリと語る佐藤さん。佐藤ママは、地域のみなさんにお子さんのことを知ってもらうための関わりをカラリとしているようでした。このことを語っていただきました。



◎パパたちの取り組み

ヒマラヤスギの会（報告者：山崎さん）

企画メンバーからの紹介で、昨年度の懇談会では活動紹介展示をお願いし、会のメンバーが当日参加してくださいました。それまで、なかなかパパの参加が得られにくかっただけに、関係者一同大歓迎でした。今回は、その2：ママ&パパ発メッセージでパパの想いを熱く語ってくれます。パパたちのボランティア活動、いろいろ課題もあるそうですが、地域の先駆者としての取り組みをきかせていただきました。

(仮) お台場おっちゃんの会

(報告者：間瀬さん)

お台場にもおやじの会があるらしい！がんばるパパたちはヒマラヤスギの会だけではないらしい、これはお話を聞かねばとお呼びしました。お台場という地域性を活かしたまちづくりが進展する、この地域ならではのパパたちの取り組みを伺いました。そして、こんなパパたちの会がパワーアップすれば、他地区のパパたちを刺激することになるかもしれません（なってほしいな）。期待大です！

◎おばちゃん・おじちゃんたちの取り組み

島田茂都子さん

島田さんとは、チャレンジコミュニティ大学（明治学院大学が港区との提携で開講）修了生が主催する勉強会で、社会学部附属研究所の実践活動を紹介させていただく機会にお目にかかりました。地域の中でシニアのみなさんの居場所づくりに取り組まれていました。この度、サポーターとして関わられた「高輪支所のコミュニティサロン事業」、地域の中のつながりをあらためて紡ぐ場になるのでは、と。その様子をみなさんにも伝えていただきました。

◎おばちゃん・おじちゃんたちの 取り組み（つづき）

井林靖雄さん

井林さんは、本懇談会の常連民生・児童委員さんです。子育て家族支援者としてのご活躍も多くの方がご存知でしょう。実は昨年、ご自身のマンションでの取り組みをきかせてくださいました。「年をとったら、地域の者同士のつながりなくしては生きていけません、集会所などを使いやすくしたいと思っているんですよ」と。その取り組みの場に、親子のみなさんの参加もあるそうです。このお話をみなさんにも伝えていただきました。

すみっこ文庫（報告者：荒澤さん）

すみっこ文庫は、荒澤さんのご自宅で土曜日に開かれています。近くのお子さんや保護者の方々とつながりを長くもたれてきています。現在は、シニアのみなさんによる読み聞かせの会読み手の勉強会も行っています。子どもたちに本と仲良くなってほしい、シニアたちがたのしく活躍できるように、、、荒澤さんのそんな想いをみなさんにも伝えていただきました。



◎まちのいろいろな人たちの取り組み

三田地区まちぐるみ大運動会

（報告者：黒川さん）

企画メンバーの数々が、町会対抗で競技するこのまちぐるみ運動会がどんなにいいかを語っていました。地域のつながりが大事だとわかっていても、他地区から移ってきて子育てしている親子には、案外地元の人たちの中に入っていきにくいと思うしまう親子もいます。町会等のイベントがより参加しやすいものであってほしい、子育て中のママたちの声です。みなさんに楽しませている大運動会の仕掛け人にお話を伺いました。

白金志田町倶楽部（報告者：山田さん）

保護者ではないまちの人たちが学校に行き授業参観している、そんな話が企画メンバーから紹介されました。たしかに学校は公開されているし、まちの人たちが子どもたちの顔を憶えてくれたらいいね、と企画メンバーは受け止めました。そんなまちぐるみで子どもを見守ってくれる人たちにお話を伺いました。実際には、上記の活動はほんの一部のようで、このまちを愛する人たちのつながり創りの物語は果てしなく続きそうです。

芝の家（報告者：坂倉さん）

芝の家は、芝支所と慶應義塾大学との協働事業による地域のみなさんの居場所です。企画メンバーほか子育てママたちから、芝の家があちこちにあつたらいいなという声を聞くようになりました。2008年度懇談会で提案したオープンスペースのイメージにきわめて近いようです。芝の家があちこちでできるためには、地域の私たちは何をしていたらよいでしょう？慶應義塾大学側のスタッフ坂倉さんからお話を伺いました。



その4:

みんなで聞こう・いっしょに話そう ...参加者によるラウンドミーティング...

ラウンド
ミーティング
3つのお約束

- ・どんどん話をしましょう
- ・他の人の話も聴きましょう
- ・アメをなめながら気楽にお話ししましょう

近くの方と、
小さな人数の
グループをつく
って、丸く座り、
感想や意見を
交換しました。

どのグループも、
上のお約束を
守り、いっぱい
聞き、たくさん気
楽にお話して
いました。



閉会あいさつ：
明治学院大学社会学部附属研究所
所長 野沢慎司



総合司会は、
めいがくキッズ &
ママ・パパ応援隊
西内隊長が務めました。



♪クロージング♪ **ちびっ子ナイト養成倶楽部**
ようこ、さちえ、ゆうせい、だいち、れおな、もな、ゆめの、ゆうき
「アンパンマンたいそう」「おしりフリフリ」

参加者もみな
「おしりフリフリ」を
踊りました！



◆当日ラウンドミーティングで語られたさまざまな感想や意見、アイデア等を
まとめて、3月末に「2009年度港区地域こぞって子育て懇談会報告書」
として発行予定です。

詳細ほかお問い合わせは、明治学院大学社会学部附属研究所まで
よろしくお願いいたします。(TEL & FAX 03-5421-5205)

主催：港区立子ども家庭支援センター・明治学院大学社会学部附属研究所
協力：みなと子育てネットWa. Wa. Wa・めいがくキッズ & ママ・パパ応援隊